

レポートの書き方

何のために書くのか？

科学のレポート：科学の作法を学ぶ／他者に伝える文章を書く

科学の作法が身についているか？・・・評価ポイント①

- ・ 重要なのは検証可能性 誰もが同じ条件で検証できること
- ・ 科学は積み重ね →先人の業績に対する敬意
→新しいことを積み重ねることに価値
- ・ オリジナリティの尊重
 - ①新しいデータを自分で出して、新しい科学的事実を示す
 - ②他人が出したデータで、新しい科学的事実を発見する
 - ③他人が出したデータで、他人が発見した事実の価値を伝える

#コピー&ペーストのレポートは、科学の作法という点で論外。

他者に伝える、ということができているか・・・評価ポイント②

#自分のノートのメモ書きではない。誰かに見せて読んでもらうもの。
誰に読ませるかによって、書き方も変わる。

- ・ 見やすく、読みやすいこと。レイアウト、図表の利用
- ・ 構成の工夫：お約束をきちんと守っているか。
お約束・・・このテーマなら、まずこの説明が必要だろう、という
定番の内容。
その上でオリジナルなことを述べているか
- ・ テーマの選び方 漠然としていると焦点が定まらない
調べながら問題意識を絞っていく／つながりを読み取る

海に興味がある …海の生物なのか、海流のしくみなのか。

海の生物が面白そう、どんな生物がいるのか →調べる

(例)深海ザメが面白い →どんな種類がどこにいるのか

どんな形態？どんな生態？発見の経緯は？ 食用？

最近の研究の進展：深海探査の発達 どんな探査艇？

生態系の中での役割、進化史の上での位置づけ、

深層流と分布の問題、「生きている化石」？・・・